

2026年4月28日
株式会社高島屋
丸紅新電力株式会社

高島屋と丸紅新電力、日本橋高島屋 S.C.本館で オフサイト PPA による再生可能エネルギー電力調達に関する契約を締結

株式会社高島屋（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：村田善郎、以下「高島屋」）と、丸紅株式会社の連結子会社である丸紅新電力株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 敦士、以下「丸紅新電力」）は、日本橋高島屋 S.C.本館において、太陽光発電所由来の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電力の供給に向けたオフサイト PPA（※¹）を活用した取り組みに関する契約を締結しました。今後、再エネ電力の供給を順次開始する予定です。

本取り組みは、丸紅新電力が複数の太陽光発電所で発電された再エネ電力をとりまとめ、オフサイトコーポレート PPA を通じて日本橋高島屋 S.C.本館へ供給するものです。再エネ電力の供給開始後は、日本橋高島屋 S.C.本館で使用する電力の一部を再エネへ切り替えることで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。



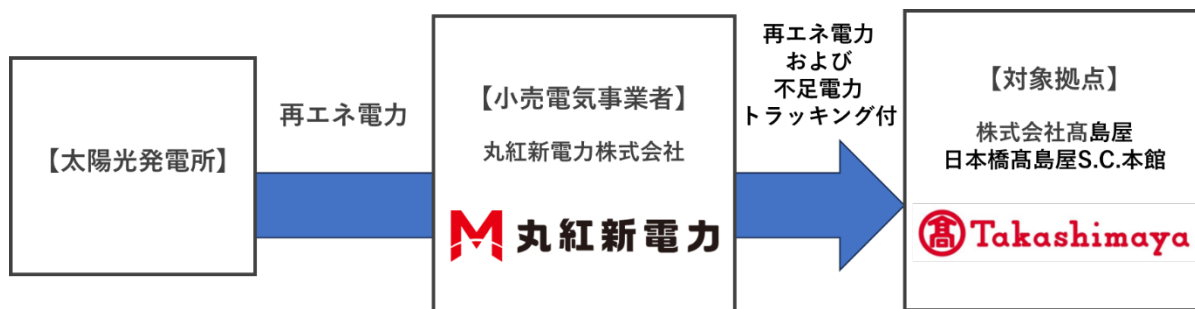
高島屋グループは、生活・文化・地域社会を支えるプラットフォームとしての役割を果たすべく、社会課題の解決と事業成長の両立をめざす ESG 経営を推進しています。その一環として、RE100 への参加以降、実質再エネ 100%の電力（※²）活用を中心に、施設特性に応じた再エネ転換を段階的に進めてきました。今後も、「地球環境」を重要なステークホルダーと捉え、お客様・地域社会・お取引先とともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

丸紅新電力は、親会社の丸紅株式会社の中期経営戦略「GC2027」に則し、「グリーンへの取組」を推進し、再生可能エネルギー電力を通じて脱炭素社会の実現・持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※¹ オフサイト PPA（オフサイト電力購入契約）とは、企業が自社設備とは別の場所にある再生可能エネルギー発電所から、長期の契約に基づいて電力や環境価値を調達する仕組み。

※² 再エネ等の非化石電源由来の電気が有する「非化石価値（環境価値）」が証書化され、RE100 対応が可能となるよう発電所所在地等の属性情報（トラッキング情報）が付与された電力。

【本取り組みのスキームイメージ図】



■高島屋の概要

| | |
|------|-------------------------|
| 名称 | 株式会社高島屋 |
| 所在地 | 大阪府大阪府中央区難波5丁目1番5号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 村田 善郎 |
| 事業内容 | 百貨店業、法人事業、通信販売事業、グループ事業 |
| 資本金 | 660億25百万円 |
| 設立年月 | 1919年8月20日 |

■丸紅新電力株式会社の概要

| | |
|------|-------------------------------|
| 名称 | 丸紅新電力株式会社（丸紅株式会社の100%出資連結子会社） |
| 所在地 | 東京都千代田区大手町一丁目4番2号 丸紅ビル |
| 代表者 | 代表取締役社長 鈴木 敦士 |
| 事業内容 | 電気の売買事業およびその代理、代行、仲介他 |
| 資本金 | 1億円 |
| 設立年月 | 2011年1月 |

以上